

# 必死の荒行

身をきるような寒風に  
肌は破れて血を吹くに

氷を割って水を浴び  
止し暇かだん断眠みんの荒行あらぎょうに

いどむ必死ぎしの行憎ぎょうそりの  
見よ、この勇猛精進を

しかしこれは身体をきたえて  
他と争うためではない

堪える限りの困苦に堪え  
根強い煩惱を断ち切って

清しょうじょう浄むく無垢ほっしんの法身ひみょうに  
秘妙ひみょうの法を体得し

ただひたすらに法益ほうやくを  
世間にほどこす一念である